



『 お薬手帳について 』

皆さんお薬手帳はお持ちですか？

お薬手帳とは、いつ・どこで・どんな薬を処方してもらったかを記録する手帳のことです。複数の医療機関を受診する時や休日に新しい医療機関を受診する時、災害にあった時などに、自分が現在飲んでいる薬を把握し、適切な治療に役立てることができます。

また、お薬手帳は次のリスクを未然に防ぐことができるツールでもあります。

名称は異なるが実は同じ効能の薬を飲んでいる場合(重複投与)

別々の病院の薬が互いに効能を強めている場合(相互作用)

じんま疹などアレルギー反応が出たものと同系統の薬がある場合(副作用)

従って、お薬手帳を数冊持っている方は、服用履歴を1冊にまとめることが重要です。

薬は正しく服用すれば病気の回復を助けてくれますが、使い方を誤ると大きな事故に繋がることもあります。

それを防ぐためにも、ぜひお薬手帳を活用して薬と上手に付き合いましょう。



鹿児島県厚生連

薬剤科(薬剤師)

中村 有莉恵